

河内地区
まちづくり
情報紙

かわち

第74号

編集/発行
河内地区まちづくり協議会
〒329-1105
宇都宮市中岡本町3221-4
028-671-3202



3月12日まちづくり協議会旗開き

まちづくり協議会から

発信



「かわちらしさづくり実践プラン後期計画」 ～自然と人を大切に絆で結ぶ楽しいかわち～を目指して

実践プラン前期計画(H28.4～R3.3)の推進結果を踏まえ、河内地区まちづくり協議会が今後5年間で推進する後期計画(R3.4～R8.3)の概要をお知らせします。

第1章 計画策定概要

後期計画・実践プランの概要

1 策定方法・前期計画を継続しながら新たな計画とする。

(1)8部会の基本方針を「楽しい」でまちづくりを推進する。

2 理念・笑顔、挨拶、楽しいを推進し「かわちらしさ」づくりへの機運を醸成する

(1)かわち地域住民の基本的な「幸せ」は何か共通理解する

(2)地域ビジョンを具現化するための担い手づくりを推進する

3 期間・令和3年4月1日～令和8年3月31日とする

4 後期計画実践プランの実行計画推進方式

(1)1年ごとのローリング方式で推進する

①まちづくり協議会全体で推進する主なプランを毎年定めて推進する

②構成団体が推進する毎年の事業計画を実行計画とする

8 構成団体加入促進と組織のネットワーク化による連携と活性化施策

9 住民参加型イベントによる「かわちらしさ」への取組み推進施策

10 レクリエーション活動や交通手段の確保を推進し、情報収集や発信手段を充実しながら、集客力などの構築施策

11 各事業や研修に気楽に参加できるシステムづくりと健康づくり施策

12 地元事業所との協働による地産地消の推進施策

13 近隣地域との交流施策を行い、広域的な仲間を増やす活動施策

14 地球規模での良好な環境対策を身近な生活を通して取組む施策

第5章 河内に地域ビジョン(実践プラン)が必要とされる状況(前号掲載)

第6章 実践プランの視点について

基本的考え方

1 「かわち」における「自分たちで自分たちのかわちをつくらうとする人々」

2 「幸せ」のために、やるべきこと(各個人に置き換えて)

3 前期計画からの視点

(1)かわち地域資源(宝物)の利用

(2)土地利用計画と河内地区の貢献

(3)地域と学校(小中学校)との連携が濃厚

(4)河内力を発揮する組織と人材発掘での活用

(5)自治会コミュニケーションの充実

第7章 実践プランの施策

1 かわちづくりの実践プランの基本(河内地区の人口及び世帯数の推移)

2 次世代が育つかかわちづくり

3 社会変化に担えるかわち

4 ワーク・ライフ・バランスの推進

5 社会貢献への取組み

6 多文化共生のかわち

第8章 実践プランの3つの戦略

戦略1 楽しく活動を知り、仲間とつながる機会を増やす

戦略2 楽しく参加し易い組織づくり

戦略3 楽しく課題解決を進める

第2章 地域ビジョンの基本方針

推進5項目

1 地域の人が笑顔で健康にスポーツを楽しむ輝けるかわち

2 安心で安全な豊かな生活の出来るコミュニティーかわち

3 次世代を担う子どもたちも参画し、五感を育みながら魅力ある楽しいかわち

4 地域の人と人が繋がり、活気に満ちたかわち

5 循環型社会形成と環境にやさしい生活を目指すかわち

第3章 前期計画をふり返り(前号掲載)

第4章 後期計画への取組

前期計画5ヶ年間の結果から後期計画への施策

1 商工会・JA・地域内事業所等からの運営支援(人員数・物品・資金)の充実施策

2 連合自治会との連携強化施策

3 河内地区市民センターとの連携強化施策

4 社会情勢(新しい生活様式など)に応じた意識改革と新規事業の構築施策

5 現状(危険箇所・歴史・伝統文化・文化財・スポーツ団体)を明確(データ)にしたガイドブックの学び(仮称・河内学の創設)への行動施策

6 人材バンク(子ども・若年層・継承者・キャリアなど)のシステムを構築して、未来の人づくり(河内人づくり)への有効活用する

7 組織の趣旨を踏まえた問題解決や意識改革への施策

令和3年度主な事業日程について

河内地域ビジョンの実践プラン(後期計画)による、令和3年度のまちづくり協議会が関係する主な事業の日程をお知らせします。なお、今年度も「コロナ感染防止」のために事業中止等の場合には、その都度関係者にご連絡いたします。

- ・ 桜づつみの花見会(4月10日～11日)※中止
- ・ さぎそう朝市(7月26日～31日)朝市(7月31日)
- ・ かわちハートフル体育祭(10月10日)※中止
- ・ かわちふるさとまつり(11月7日)
- ・ いきいき河内発見講座(5月31日・7月31日・9月20日)
- ・ 全体会議(9月17日・2月18日)
- ・ まち協総会(5月21日)
- ・ 地域内交通運営協議会総会(5月24日)



河内地区まちづくり協議会 会旗 完成

2019年来デザインを公募し検討を重ねてきました会旗が完成しました。河内の自然豊かな芽吹きを表した黄緑色を背景に旧河内町の町章をサギソウの妖精サキちゃんソウくんが抱き育む姿を図案化しました。3月12日には旗開き式を行いました。コロナ禍の今、皆様にお披露目できる機会はいつなのか?出番を待っています!!



地域自治振興功労者表彰

表章 ○永年地域の活動促進に貢献した自治会長に、宇都宮市長より「地域自治振興功労者表彰」が贈られました。河内地区では、5年以上在職されている自治会長2名が受賞されました。

宇都宮市地域自治振興功労者表彰

石原 莞司郎 (奈坪二区自治会長)
青砥 孝直 (太陽ヶ丘自治会長) (敬称略)

栃木SC ■キャプテン 柳育崇選手

河内地区の皆さん、こんにちは。

今シーズンキャプテンを務めることとなりました、柳育崇です。

昨シーズンはコロナ禍の中、河内地区の皆さんをはじめとした多くの皆さんに支えていただき10位で終わることができました。今シーズンは2月28日に開幕し、まだ通常通りとは言えないですが僕たちはサッカーをすることができています。日頃より練習場として使用している河内総合運動公園にも散歩をしているみなさんがいらっしやる風景を見ることが出来る日常が、徐々に戻ってきつつあります。まだ新型コロナウイルスとの闘いは続きますが、引き続きみなさんと感染予防をして乗り越えていけたらと思います。今シーズン約半数の選手が入れ替わり、新たなメンバーで最後までシーズンを戦い抜きたいと思っております。河内地区のみなさんに栃木SCを応援していただけるように、僕たちも全力で戦います。応援をよろしくお願いいたします。



かわち第73号の地域トピックスの「今年も地域の皆様の応援よろしくお願いいたします!」の記事は栃木SCさんから寄せられたメッセージでした。お詫びいたします。

地域トピックス 卒業おめでとう!



田原中学校

「歩み続けろ、そして転んでもただでは起きるな」—— 門出に向けて、澤畑校長先生から贈られた力強い言葉を胸に、田原っ子96名が学び舎を立派に巣立っていきました。どんな困難にも負けず、広い世界へ大きく羽ばたいてほしいと思います。



古里中学校

3月11日(木)、古里中学校3年生124名が古里中学校を巣立っていきました。卒業式は感染症対策のため、卒業生と保護者、来賓(PTA会長)、職員により密を避けて実施しました。全職員で卒業生の退場を見送る場面では、成長した姿に頼もしさを感じると共に寂しさで切なく感じるものでした。



河内中学校

例年、卒業式を前にパンジーが贈られ式場を華やかにしていました。今年は卒業生一人一人に和菓子をいただきました。コロナ禍で行事が縮小や中止となりましたが、無事に卒業式を終え、笑顔で巣立っていきました。

コロナに負けるな! かわち笑顔プロジェクト第4弾!!

今年の卒業式もコロナ感染症対策のため参加人数を最小限にとどめて行われました。日頃から子供達の成長を見守ってきた地域の人達からの「卒業おめでとう!」の気持ちを届けようと、まちづくり協議会では文教部会が中心となり地元菓子店の協力も得て、地区内の小中学校および県立岡本支援学校の卒業生総勢671名に祝い菓子を贈りました。

先頭を切って3月10日に卒業式を行った岡本支援学校には前日に永井会長が出向き瀧校長先生に祝い菓子を託しました。その後11日には中学校、19日に小学校と卒業式が行われましたが、各校に地域コーディネーターが祝い菓子を届けました。



地域の力は防災の力

新型コロナウイルスの感染が拡大し、私たちの命と暮らしが大きく脅かされています。一方、今年の3月で東日本大震災から10年になり、その記憶の風化が懸念されています。私たちの命や暮らしを守るためには、コロナに備えつつ、大震災や豪雨、台風など自然災害への備えを徹底することが求められています。

昨年5月には、感染症拡大防止にも留意し適切に避難することが呼びかけられました。人の移動と接触の最小化は感染症対策の基本ですが、災害時にはまず命を最優先し、危険な場所からの避難を行ってください。

そして、防災・減災で最も大切なことは、日頃からの備えになりますので、ハザードマップで身の回りの危険な場所と避難所や安全な場所の確認をお願いします。加えて、宇都宮市は自助、共助を防災の基本としていますので、日頃から地域での助け合いや自治会活動の活性化をお願いします。『助け合う人が多い地域は、防災に強い地域』とも言えます。

「白沢宿のまちなみ」が『みや遺産』に認定されました!

宇都宮市は2月17日に「白沢宿のまちなみ」はじめ9件を『市民遺産』(愛称=みや遺産)に認定しました。みや遺産の認定は今回が初めてですが、文化財指定の有無に関わらず『地域の宝』を守り続けていくことを目的に、地域に親しまれている有形無形の歴史文化資源とその保存活用に取り組む団体を宇都宮市がサポートしてくれます。



つながりを大切に『つなぐ』『ささえる』地域とともに



「民生委員・児童委員」

宇都宮市、河内地区内51自治会に60名の民生委員・児童委員・主任児童委員が活動しております。

同じ地域で暮らす住民として、見守りや声かけなどを行う『地域住民相互の支えあい』を進める活動で、皆さんをはじめ自治会や社会福祉協議会の福祉協力員などの関連機関との連携を図りながら、よりよい地域づくり福祉のまちづくりに努めております。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

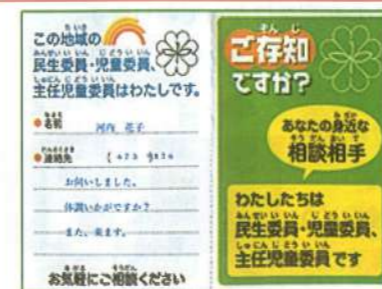
「コロナ禍における感染に留意した活動は」

不安と混乱と戸惑いの中で新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、私たちの生活は大きく変わりました。栃木県には緊急事態宣言も発出され、外出の自粛、イベントの開催自粛、そして人との接触を減らすことが要請されました。この感染症の影響により、地域福祉活動が人の集い、ふれあい、顔を合わせて交流することの活動が制限され、感染のリスクや、自分が広げてしまう側になるかもしれないという不安を感じる時もあります。そのいっぽう、高齢で基礎疾患があるなど健康への不安をもっている方々が多いのも事実です。

そんな中、特に「気になるひとは」“お一人暮らしの高齢者”です。その方とのつながりを保つことが何よりも大切なことです。

「コロナ禍での取り組みとして」

「“メッセージ”を添えたチラシ等の配布による見守りの取り組み」の実施。



- (右の見守りカードにメッセージを添えたものをポスティング)
- ・「体調はいかがですか」「水分補給して脱水対策をしてください」「屋内ストレッチのすすめ」といった健康管理メッセージを。
- ・新型コロナ対策や特殊詐欺などのチラシ。
- ・脳トレのクイズ集を配布。
- ・電話・☑で声かけなど安否確認する。



河内地区民生委員児童委員協議会 清水

お知らせコーナー

中学生がどうしても伝えたい

“かわち”の魅力

～中学生が見て感じた“かわち”の魅力とは～

日時 令和3年5月31日(月) 午後2時～(90分程度)

場所 河内地区市民センター 1階 ホール

- 内容
- ①知ってる?古里地域の魅力～心落ち着く自然と文化～
 - ②自転車でこぎだせばあなたはきっとキレイになる。
 - ③見よう!食べよう!遊ぼう!古里!
 - ④古里地域の豆知識
 - ⑤もっと知ってほしい!! 古里地域の美味しい店!!!! (発表:1テーマ 10分～15分)

定員 先着50名
 申込 令和3年5月7日(金) 午前8時30分から開始
 月～金曜日(祝日は除く)の午前8時30分から
 午後5時までの申込

申込方法 直接、河内地区市民センター
 (河内生涯学習センター)貸館窓口、または、
 お電話(TEL671-3201)でお申込みください。

その他 受講者には、中学生が作成したパンフレットをプレゼントします。

新型コロナウイルス感染防止に備え、受付のビニールシートや手指消毒液を設置するなど安全対策を講じますが、受講される皆さま方にも当日の検温、マスクの着用などをお願いします。

問い合わせ先 河内生涯学習センター
 〒329-1105 宇都宮市中岡本町3221番地4
 電話671-3201 FAX671-3220
 Eメール u2227@city.utsunomiya.tochigi.jp

河内の花サギソウの展示と朝市

絶滅危惧種に指定されている「サギソウ」を河内地区の花として保全・継承している宇都宮サギソウ愛好会が、まちづくり協議会の協力を得て、広く住民の皆さまに「サギソウ」を知っていただくため、7月26日～7月31日まで河内地区市民センター前で展示します。



さぎ草展

最終日の31日には、サギソウ朝市を開催しサギソウ鉢植や地元新鮮野菜の販売をする予定です。

花いっぱい運動のお知らせ

青少年育成協議会では今年も『河内地区全体をマリーゴールドの花でいっぱいしよう』との趣旨のもと、マリーゴールドの種(黄色と赤色各1袋)を配布します。希望される各自治会の青少年育成推進員さんは、是非受け取りに来てください。地域の環境美化のためにも多くの推進員さんの参加をお待ちしております。

- ◆配布日 5月23日(日)
- ◆時間 午前9時～10時の間
- ◆場所 中央花壇(雨天決行)



Eメール: tp_kwtik@moon.ucatv.ne.jp

サークル紹介 スポーツかわち『ship』

前号では新サークルの紹介を行いました。今回は長年活動している『バウンドテニスサークル』を紹介します。

バウンドテニスはテニスと卓球が合成されたもので、限りなくテニスに近いスポーツです。ラケットが短く(50cm)、コートも狭い(縦10m横3m)ため、テニスに比べ、技術的に優しいスポーツでもあります。男女や年齢を問わずに誰にでも手軽にでき、体力に応じた運動量を確保でき、さわやかに汗をかくことができます。

身体を動かし適度な負荷で仲間と時間を楽しみたい方にはほど良い運動かと思えます。

- 活動は
1. 毎週火・木曜日
 2. 河内体育館
 3. 13:00～16:00

体験してみませんか!

その他の種目も新型コロナウイルス感染予防に気を付けながら活動しています。



詳細については、河内地区市民センター、河内体育館においてあるパンフレットをご覧ください。事務局(平日のみ)まで問い合わせください。

問い合わせ先:スポーツかわち『ship』事務局(古里中学校体育館 1F)
 TEL:080-9652-5911

『河内図書館』

皆さまのご来館をお待ちしております

いつも河内図書館をご利用いただき、ありがとうございます。

昨年度中は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一時休館や時短での開館を余儀なくされました。利用者の皆さまには十分なサービスを提供することができなかったことを、お詫び申し上げます。

図書館では、定期的な館内の換気や消毒をはじめ、本の除菌機を導入するなどの感染症対策を実施したうえで、イベントも徐々に再開しております。新型コロナウイルスの脅威は去っていませんが、新しい日常を送るなかで、図書館も進化をしながらサービスの充実をはかって参ります。

河内図書館は昭和61年に開館し、今年で35周年を迎えます。地域の皆さまにとって愛される図書館であり続けられるよう努力してまいります。

これからも、河内図書館をどうぞよろしくお願いたします。



私の地域自慢

西組自治会の紹介

西組自治会は、田原小学校から県道上横倉下岡本線沿いを西に入った農村地域で、付近の山では、春の新緑、秋の紅葉が楽しめます。

会員は、ここ数年少子高齢化などによる減少傾向にあり、現在の世帯数は42戸になっております。

自治会の行事については、天王原自治会の紹介にもありましたが、西組、天王原、東組の3自治会の持ち回りにより鹿島神社などの祭礼を行っています。

八坂神社の祭礼の日には、平成9年以降引き回しが行われていない彫刻屋台の出干しと合わせて、レクリエーションや懇親会を開催しています。

また、7月には、会員総出で鹿島神社、稲荷神社の境内と公民館の一斉清掃を行っています。

9月には公民館で自治会主催の敬老会を開催し、歌や投げ輪などで楽しんでいただいています。

1月には、会員の親睦を図るため新年会を開催し、2月の初午では、会員の当番制で、ため池の畔に祀られている水神様と合わせて初午祭りを開催しています。

さらに、女性会員で構成する「すみれ会」では、毎月公民館で、田原包括支援センターの協力のもと、脳トレや輪投げなど要望に沿ったテーマを設けて活動しています。

これからの自治会は、直面している少子高齢化、新型コロナウイルス感染症に対し、どのような運営をしていくのが課題となりますが、恵まれた自然環境を生かし、受け継がれてきた伝統文化を継承してゆきながら、会員相互の親睦を図り、絆が深まるよう活動していきたいと思えます。



田原中学校 天文台公開日のお知らせ

《2021年 5月・6月・7月の公開日》

- 5月1日(土) 22日(土)
- 6月5日(土) 19日(土)
- 7月3日(土) 17日(土)

- ・時間 19:00～21:00
 - ・会場 田原中学校天文台(特別教室4F)
 - ・その他 費用は無料
- ◎上履きをご持参ください。

※申し込みは下記ページから「完全予約制」です。
<https://sites.google.com/view/hoshinokokai/>
 右のQRコードからページにジャンプできます→

◎新型コロナウイルス感染症の状況で中止となる場合は、星の子会Webサイトで告知しますのでご確認ください。

お問い合わせは
 河内星の子会 ☐hoshinokai@gmail.com

行政相談

- ◆相談日 5月13日(木)
6月10日(木)
7月8日(木)
- ◆場所 河内地区市民センター
1階相談室又は2階学習室
- ◆時間 午前10時～正午まで
- ◆相談員 渋井トミ子
☎(673)2132

好きです 私たち株式会社JAグリーンとちぎは かわち地域の皆様と社員の幸せを追求します。

株式会社JAグリーンとちぎは、平成18年にJA全農100%出資の会社として誕生しました。当社では大きく3部門の事業を行っています。運輸事業・肥料事業・資材事業についてご紹介します。

運輸事業

JAグループの系統物流(米麦、肥料農薬、飼料)を中心に、県内に3拠点(中岡本、宇都宮市下小倉、栃木市藤岡町)物流センターを配置し貨物運送・倉庫事業を行っています。本社のある中岡本では自動車整備事業も行っており、自社の大型トラックの他に民間の乗用車の車検・点検も行っています。是非お気軽にお越しください。



肥料事業

農作物(水稲、園芸作物)に使用する肥料の製造を行っており、JAを通じて販売されています。水稲向け肥料では県内シェア6割近くを製造するほか、近隣県への販売も拡大しています。また、水田や畑の土壌分析も行っており、JAを通じて農家に分析結果に基づいた適正な土づくりのアドバイスや肥料の提案を行っています。



資材事業

農業用パイプハウスやフィルムを加工しており、主にいちごやニラなどの施設園芸に貢献しています。農業資材・設備の設置にあたっては、JAと共に当社の資材推進員が農家に向き、納得・安心いただけるより良いご提案を行っています。



河内物語

☆宇都宮市河内地区の誕生(その6・2)合併推進・編入合併

前号(1月号)で住民投票結果表のとおり、投票率56・90%は住民投票条例で規定した開票するための要件「50%以上の投票率」を上回り、「宇都宮市との合併」が85・63%と半数を越え、住民が宇都宮市との合併を望んでいることが明確になりました。宇都宮市との生活圏が一体であることや将来に対する財政的な不安などによる結果と当時私は想像しました。この結果を踏まえ、当時の玉生町長は、投票翌日宇都宮市長・上河内町長を訪問して、投票結果と宇都宮市との合併協議へ向けた調整に入るための組織を立ち上げ、円滑な合併協議へと展開できるように申し入れました。

平成17年(2005)5月31日国は、自主的な市町村の合併を推進するための基本的な指針(基本指針)を告示

平成18年(2006)3月28日「栃木県市町村合併推進構想」を策定し、「宇都宮市・上河内町・河内町」を望ましい構想対象市町村の組み合わせとして選定しました。

平成18年(2006)4月1日「河内町総合計画(平成18年度〜平成27年度)」将来像「夢・ふくらませ、つよい絆で未来を拓く、田園都市・かわち」がスタート。この計画は、宇都宮市と合併する一年間と短い総合計画となってしまうましたが、河内地区まちづくり協議会が「河内地区地域ビジョン」を平成28年3月31日に策定に至るまでの貴重なまちづくりの仕法となり、計画の趣旨は地域ビジョンの将来像「自然と人を大切に絆で結ぶ楽しいかわち」に受け継がれているものと私は理解しています。

平成18年(2006)6月9日
手塚照夫町長就任

平成18年(2006)8月9日
「宇都宮市・上河内町・河内町」の「合併市町村基本計画素案」を発表。

平成19年(2007)3月31日
宇都宮市に編入合併し「河内地区」
として現在に至っています。

☆昭和の合併以降の国勢調査(河内地区)人口推移

大塚自治会 増測 昭

年度	人口(人)	増減(人)
昭和30年(1955)	13,616	—
昭和40年(1965)	13,505	105
昭和50年(1975)	19,193	4,361
昭和60年(1985)	26,266	2,843
平成7年(1995)	32,616	2,533
平成17年(2005)	35,176	866
平成27年(2015)	34,903	255

ぼくの夢・わたしの夢

岡本西小学校6年 みなかわ **皆川 莉奈** りな

私が望む未来は、世界中の人々が幸せで、笑顔あふれる生活ができることです。
私は、「舞台俳優」という夢があります。私の舞台を観に来てくれた人を元気づけたいです。
また、テレビで汚れた危険な水を飲んでいる途上国の大変さを知りました。そこで、チャリティーの舞台をやり、途上国の人々や病気で苦しんでいる人々を支援したいです。
この夢の実現のために、コロナが収束したらたくさん舞台を観に行き、勉強したいです。



岡本北小学校6年 もりいずみ **森泉 菜** しおり

私の将来の夢は、警察官になることです。
なりたいたいと思ったきっかけは、前にテレビで警察官が犯罪者を逮捕する場面を見てあこがれたのが始まりで、私もその警察官みたいに次々と犯罪者を逮捕して、いつかは正義感あふれる警察官になりたいと思いました。
弱い立場の人を守るような警察官になるのが私の夢です。



田原西小学校4年 いまい **今井 あかり** あかり

わたしは、ひこう機の整備士になりたいです。松島の自衛隊の整備士で、ひこう機の中のパイロットに、指で何かの合図をしていた整備士を見て、とてもカッコいいと思ったからです。せい服を着て合図を送る動きが、本当にすてきでした。わたしは、ブルーインパルスやF2に合図を送る人になれるように、えい語などの勉強をたくさんして、がんばりたいと思います。



地域の皆様からの応募をお待ちしています。

- あなたの身近な地域の情報や話題
- 河内地区を撮影した風景写真、地域のお祭り、イベントの写真

【問合せ】
〒329-1105 宇都宮市中岡本町3221-4
河内地区まちづくり協議会
(河内地区市民センター内)
☎ (671)3202 FAX (671)3220
Eメール先に送信して下さい

河内地域の人口

人口 35,100人
男 17,536人
女 17,564人
世帯数 14,361世帯
(住民基本台帳による)
令和3年3月末日現在

編集後記

何時になく開花の早かった桜も葉桜に変わり、心地良い新緑の季節を迎えています。
新しい一年生が通学を始め少し慣れてきて動きが活発になるころです。ハンドルを握る皆様には、予測不可能な子どもたちの動きに充分注意して頂き、通学児童の安全確保を、お願い致します。